
「絞扼性腸閉塞の早期診断に有用な CT 所見」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2022年12月31日までの期間に埼玉医科大学消化器一般外科にて腸閉塞の手術を受けられた方を対象としています。

2. 研究の目的

腸管壊死に至る可能性のある腸閉塞の早期診断を目的として診断に有用な CT 所見を調べます。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年12月31日まで

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者背景、疾患名、術式、閉塞腸管、閉塞原因、切除検体の病理所見、CT 検査所見を調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、消化器一般外科において、研究責任者である浅野博が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

診断時の診療記録や CT 画像等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院 消化器一般外科 浅野博（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化器一般外科 浅野博

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1330 (土日祝日を除く 8:30 ~ 17:30)

○研究課題名：絞扼性腸閉塞の早期診断に有用な CT 所見

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化器一般外科 浅野博